

「将来考えるきっかけに」

清風中で実践発表会



NIE実践発表会で熱心にメモを取る生徒ら＝大阪市天王寺区の清風中学校

教育に新聞を

広がるNIE



新聞を活用した授業「NIE」に取り組んでいる大阪府天王寺区の清風学園清

風中学校で21日、大阪NIE実践発表会が開かれ、3年生43人による社会科公民の公開授業と研究協議が行われた。

同校では平成7年に「清風学園NIE研究会」（現・NIE研究部）を発足。新聞の論説や記事をもとにしたゼミを開講し、生徒たちの指導に当たっている。

「新聞記事から社会保障を考える」をテーマにした公開授業では、生徒たちが4班に分かれて年金や医療保険などについて、新聞記事や記事のデータなどを参考にまとめた問題点や解決策をそれぞれ発表。少子化対策のアイデアを唱える一方で、「高所得高齢者の年金カット」や「高額医療費の自己負担額アップ」など手厳しい意見も目立った。授業に参加した河中祐太さん（15）は「将来の問題を考えるきっかけになった。新聞を読むようになって、経済状況もわかるようになってきた」などと話していた。